

マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」#13 原作シナリオ

山崎浩治

マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 # 1 3 原作シナリオ

1 「居酒屋まわりみち」店内

アヤカのM「オネエ所長とトオルさんが居酒屋まわりみちにやってきました」

カウンター席に座るオネエ所長(割烹着に姉さんかぶりで女装)とトオルの間に、人形を抱いた菜摘(4歳)がちょこんと座っている。店内にはアヤカと末吉マスター、他に客の美鈴とサトシがいる。

アヤカのM「この子はなっち。ママが家出しておばあちゃんが預かっていましたが、そのおばあちゃんが病気で亡くなり、施設に入っていたのをオネエ所長が引き取ったんです」

トオル「(オネエ所長に)女装するのは尾行や張り込みの時だけでしょ？ どうして最近はいつも女装してるんです？」

オネエ所長「なっちのママが帰ってくるまで母親代わりでいようと決めたのよ。男に戻ると、この子が混乱するでしょ」

トオル「素直に父親代わりになろうとは思わなかったんですか！」

オネエ所長とトオルのやりとりをあとけなく聞いている菜摘。

アヤカのM「なっちを引き取るにあたってはいろいろあったみたいですが、家出調査の依頼人だったおばあちゃんの希望だったこと、オネエ所長が元刑事だったことが考慮されたみたいですよ」

オネエ所長「あたしの手料理じゃ口に合わないみたいなの。末吉マスター、何かおいしい料理食べさせてあげて」

末吉マスター「特製ハンバーグお待ち！」

末吉マスターが菜摘の前にハンバーグの皿を置く。

菜摘、ハンバーグにほとんど箸をつけない。

アヤカ「(その様子を見て閃き)末吉マスター、まかない食べてもいいですか」

× ×

カウンター席に座るアヤカの前にタクウインナーが載ったカレーライス。

アヤカ「特製アヤカレー、いただきま〜す！(と美味しそうに食べ始める)」

オネエ所長「うわっ、おいしそ！ あたしにもちょうだい！」

トオル「オレも！」

美鈴・サトシ「こっちにも！」

美味しそうにカレーライスを食べる一同を羨ましそうに見つめている菜摘。

菜摘「なっちも食べる！」

タクウインナーカレーをもりもり食べる菜摘を一同が目細めて見ている。

2 オネエ所長のマンション・キッチン(別の日)

割烹着に姉さん被りのオネエ所長が朝食を作っている。

そこへ目を擦りながら、人形を抱いたパジャマ姿の菜摘が起きてきた。

菜摘「お早う、おじちゃん」

オネエ所長「お早う、なっち。おじちゃんじゃなく、お姉ちゃんね」

菜摘「ママ、帰ってきた？」

オネエ所長「(菜摘に背を向けたまま)……ううん」

菜摘「おばあちゃんは？」

オネエ所長「おばあちゃんは亡くなったわ」

菜摘「(悲しげに)……」

オネエ所長「朝ご飯食べなさい。保育所に行く時間よ」

3 保育所(昼)

菜摘が園児たちとお絵描きをしている。

女性保育士「それじゃママの絵、描こうか」

菜摘、クレヨンを走らせる。

4 「プライベート・リサーチ」オフィス

デスクが数個と応接セットだけの簡素な室内。

トオル「なっちは元気になりましたか？」

オネエ所長「(キャリアウーマン風のスーツ姿で)あたしに心を開いてくれないの。母親代わりなんて簡単にできることじゃないわね……」

5 もとの保育所

画用紙に描かれたママの絵。

菜摘、席から消えている。

6 「居酒屋まわりみち」店内(営業時間前)

アヤカと末吉マスターが仕込みをしている。

末吉マスター「もうすぐ花火大会やけど、アヤカちゃんは彼氏と一緒に行くんか？」

アヤカ「その彼氏がないんですよねえ……」

その時、店内に誰かが入ってきた。

末吉マスター「あいすいません。店は5時から……」

入ってきたのは血相を変えたオネエ所長とトオルだった。

オネエ所長「なっち、来てない？」

アヤカ「いえ。なっちがどうしたんですか」

トオル「保育所からいなくなったんだよ！ アヤカレー食べに、ここに来たんじゃないかと思ったんだけど」

オネエ所長「ここじゃないとしたら……おばあちゃんの家かも！（店を飛び出して行く）」

末吉マスター「アヤカちゃんも一緒に探しといで！」

アヤカ「はいっ」

7 住宅街を走るオネエ所長、トオル、アヤカ

8 古い一軒家の前にやってくるオネエ所長、トオル、アヤカ

菜摘の姿はない。

オネエ所長「(オロオロして)ここにもいない。どうしよう、トオルちゃん！」

トオル「所長がうろたえてどうするんですか！ なっちの母親代わりなんですよ！ しっかりして下さい！」

オネエ所長「(我に返って)そうね……おばあちゃんの家じゃないとしたら」

アヤカ「ママと一緒に暮らしてたおうち？」

オネエ所長「そこよ！」

走り出すオネエ所長、トオル、アヤカ。

9 老朽化した2階建ての木造アパート

息せき切ってやってくるオネエ所長、トオル、アヤカ。

階段に、しょんぼりした菜摘(傍らに人形がいる)が座っている。

菜摘「ママを探しにきたけど……やっぱり、いないの。(涙があふれ)ママ、早く来て！ お願い！
ママに会いたいよお！」

オネエ所長「(菜摘を抱きしめて)寂しい時は一人でいなくて！ あたしがそばにいるから！(と号泣)」

菜摘「(オネエ所長を見上げ)おじちゃん、来てくれてありがとう。もう泣かないで」

オネエ所長「おじちゃんじゃなくて、せめておばちゃん(鼻水を垂らして盛大に泣く)」

その姿を優しい眼差しで見つめているアヤカとトオル。

10 犀川大橋(夜)

アヤカのM「花火大会の日がやってきました」

浴衣姿でやってくるアヤカ、オネエ所長(女物の浴衣姿)、トオル、菜摘。

11 犀川河川敷

夜空に打ち上げられた花火。

見上げているオネエ所長と菜摘、そしてアヤカとトオル。

トオル「(花火を見上げながら、ぽつんと)短冊に書いた願い事、こんなに早く叶うとは思わなかったな……」

× ×

インサート。短冊に書かれた「アヤカちゃんとデートできますように」の文字。

× ×

「ドーン」と花火の音。

アヤカ「(トオルに)……いま何か言いました？」

トオル「(ニッコリ笑って)いや、何でもない」

アヤカのM「今年も彼氏なしの花火大会かあ……」

トオル「(そんなアヤカの横顔を眩しそうに見つめて)……」

菜摘「(花火を見上げ)この花火、どこかでママも見てるかな……」

オネエ所長「きっと見てるわよ」

思い思いに花火を見上げているアヤカ、トオル、オネエ所長、菜摘。